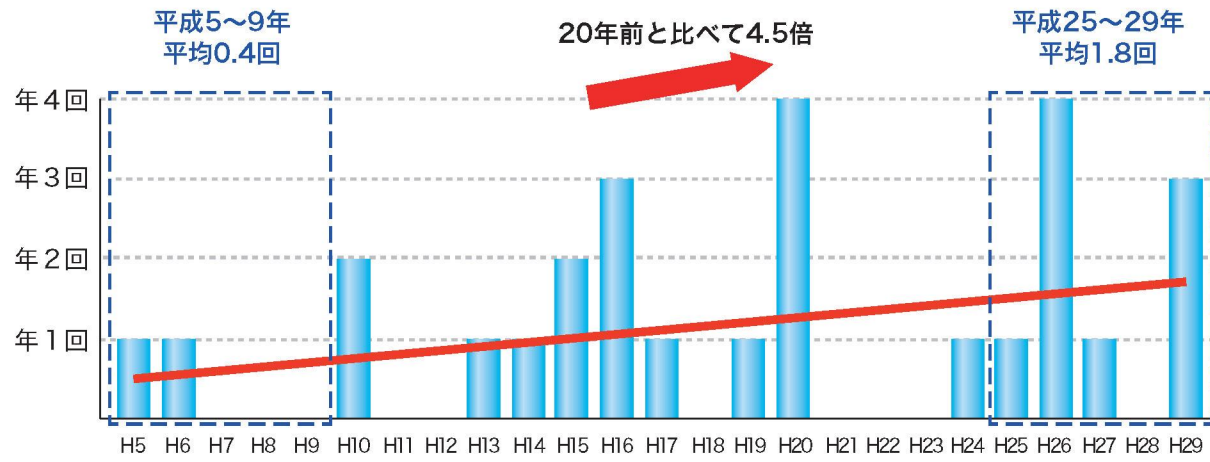


雨の降り方の変化

下のグラフのとおり、最近5年間の時間雨量50mm以上の降雨の発生回数は、20年前に比べて4.5倍に増えています。大雨の発生頻度は確実に増えていますので、日頃からの備えが重要です。



時間雨量50mm以上の降雨の発生回数の変化(静岡地方気象台)
気象庁「過去の気象データ」を加工して作成しました。



静岡市上下水道局庁
「水のキャラクター」
しずみ

過去の浸水被害状況

	時間最大雨量 (mm/hr)	総降雨量 (mm)	床上浸水 (戸)	床下浸水 (戸)	被害状況
昭和49年7月 七夕豪雨	76	508	約12,000	約14,000	洪水 (外水氾濫)
平成15年7月	112	345	727	1,120	内水氾濫
平成16年6月	82	368	237	627	内水氾濫
平成26年10月	90	471	542	875	内水氾濫

静岡市独自の調査による。(平成26年10月の豪雨については、静岡県が観測している平山観測所のデータ)

昭和49年7月 七夕豪雨による浸水被害状況



清水区江尻町

平成26年10月 台風18号による浸水被害状況



清水区高橋三丁目

避難の心得



浸水時は足元に注意

道路が冠水しているとマンホールや側溝のふたが外れていても気づきにくいので、どうしても外に出る場合は、足元に注意しましょう。避難時は、川や橋に絶対に近づかないでください。



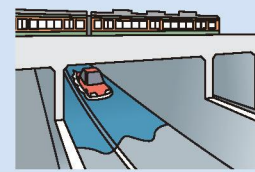
浸水時に長靴は厳禁

長靴は水が入ると歩けなくなります。浸水の深さが大きい場合は、動きやすい服装で避難しましょう。



高い場所への避難

内水氾濫が発生したら、建物の2階以上など安全な場所へ一時的に避難しましょう。河川の堤防の決壊などによる洪水(外水氾濫)のおそれがある場合も同様です。



アンダーパスに近づかないで

アンダーパスは立体交差等で道路が地下にもぐる場所です。周囲の水が集まり、冠水しやすいため危険です。自動車は立ち往生してしまいますので、絶対に近づかないでください。

地域での協力や助け合いなど



高齢者・幼児・傷病者・外国人には…

高齢者や幼児は、手をつなぐ、背負うなどしてしっかり援護します。傷病者には複数の方で対応しましょう。外国人で言葉が通じない場合には、身振り手振りを交えて誘導します。



身体の不自由な人には…

車椅子の方は、3人以上で協力し、階段を上るときには前向きに、下るときは後ろ向きにして、恐怖感を与えないように配慮しましょう。



目の不自由な人には…

「お手伝いしましょうか」などと、まず声をかけましょう。はっきり、ゆっくり、大きな声で話しましょう。誘導するときは、杖を持っていない方のひじあたりを軽く触れるか、腕をかしてゆっくり歩きましょう。



耳の不自由な人には…

近くまで寄って、口を大きくはっきり動かして話しましょう。わからなければ、筆談しましょう。紙やペンがなければ、相手の手の平に字を書いて伝えましょう。

要配慮者利用施設の場所を確認できる地図は、市ホームページに掲載しています。
https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_006003.html

